

あわの自然学園のあり方の検討状況について

1 外部事業者の施設・サービス活用の検討結果

令和3年度末に、あわの自然学園を廃止し、翌年度から本区小学校5年生の移動教室は、「独立行
政法人国立青少年教育振興機構（以下「機構」という。）」が運営する宿泊施設を使用して実施することが適当である。

(1) 機構の運営施設を適当とする理由

ア 安全性の確保

医療機関が近隣にあり、疾病、負傷等による緊急時の対応が可能である。

機構の運営施設では、付近のハイキングコースにおける熊や猪の出没情報等に備え、複数方面のコースを用意しているため、カリキュラムをより安全に実施することが可能である。

イ カリキュラムの充実

自然体験、創作活動ともに豊富なメニューを有している。大型屋内施設の利用により、雨天時のプログラム拡充が可能である。

野外炊飯の実施等、「新学習指導要領」のねらいに沿った活動を行うことが可能である。

ウ 希望日の確保

本区小学校が計画する移動教室希望日の予約が可能である。なお、他区が保有する校外学習施設は、当該区に予約の優先権があり、本区の希望に沿った受入れは困難である。

(2) 決定時期

令和3年3月末（予定）

[参考] 候補施設の比較

	あわの自然学園	機構の運営施設	他区施設	民間施設 (鹿沼市内ホテル)
希望日の確保	可	可	不可	可
カリキュラムの充実	充実には設備投資等 が必要	新学習指導要領のねら いに沿った活動が豊富	現行のカリキュラム とほぼ同様	実績はないが、現行のカ リキュラムを転用可能
区費負担合計 (あわの自然学園で実施した場合との差額) 移動教室実施に係る交通費等も含む	約 65,000 千円	約 25,390 千円 (約 - 39,610 千円)	約 17,751 千円 (約 - 47,249 千円)	約 33,112 千円 (約 - 31,888 千円)
保護者負担額(1人あたり)	3,200 円 + 諸経費	3,760 円 + 諸経費	7,200 円 + 諸経費	16,000 円 + 諸経費
移動時間(片道)	約 2 時間	約 3 時間	約 2 時間	約 2 時間
安全性 の確保	医療機関(車での所要時間)	約 50 分	約 20~30 分	約 10 分
	ハイキングコース(代替有無)	無	有	無

金額は、令和元年度執行実績額を基に算定した。

2 今後のあわの自然学園施設の取扱いについて

施設活用及び地権者との契約内容等について、引き続き区長部局と検討する。

3 関係者への周知

(1) 学校関係者、児童等から、事前に意見聴取を実施済(令和3年1月~3月)

(2) 関係各課が鹿沼市を訪問し、検討状況について情報提供済(令和3年2月)